

植物多様性センターの「ナガバジャノヒゲの種子」

フクジュソウ園のナガバジャノヒゲ。葉をかき分けると出てくる宝石のような濃い瑠璃色の種子が人気です。種子・・・そう、じつはこれ果実ではなく種子なのです。青い皮は果皮ではなく種皮で、本来の果皮は花が終わった後にすぐ脱落してしまいます。本種はキジカクシ科（図鑑によってはクサスギカズラ科）の植物で近い仲間にヤブランやノシラン、キチジョウソウ等があります。今回はナガバジャノヒゲの近くにあるヤブランの種子と比べてみました。



葉が多く重なり、そのままだと種子は見えない



大きさは1cm前後、若い時は白い(丸枠内)



ヤブラン: 花茎は葉の位置より高く立ち上がる



種皮は肉厚で動物たちにとって可食部となる